

小さな村の小さな？！一歩 ～ 奈良県川上村にみる地域福祉の未来～

日時 2024年10月25日（金）13：00～14：30

場所 千里山キャンパス 尚文館 1階 マルチメディアAV大教室

講師 越智 祐子（非常勤研究員）

奈良県川上村は、人口約1,200人の小さな過疎の村です。

大きな川とその支流に沿って26の小さな集落が点在しており、その形はまるで葉脈のようです。

吉野川（紀ノ川）の最源流部に位置し、豊かで美しい水が流れ出る「水源地の村づくり」を進めてきた川上村は、保健福祉分野では「都市にはない豊かな暮らしの実現」に向けて独自の取り組みを行っています。

厳しい自然環境や社会資源の不足にあっても、「誰もが健やかに暮らせる村づくり」を住民と職員が一体となって実現しようとするその姿勢は、国が推進する政策とも一致し、先駆的な地域福祉の実践例となっています。

本講座ではまず、自然に囲まれた川上村ならではの豊かさや生活の楽しみ、そして不足を工夫で乗り越えている川上村の暮らしについて述べ、山あいに点在する小さな集落に暮らす独自のライフスタイルと、村びと全員、顔見知りというコミュニティの特徴を紹介します。葉脈のように広がる26の小集落がどのようにして連携を実現しているのか、また移住者の増加による住民層の変化の中で、いかに地域福祉コミュニティを構築しようとしているのか、その具体的な取り組みを紹介します。

以上を通じて、都市部とは異なる視点からの地域福祉の可能性を探ります。川上村の事例は、全国に点在する過疎の村々に共通する課題とも多く重なります。人口減少と高齢化に向けた対応策の模索は、日本社会全体にとっても重要な課題です。この講座を通じて、川上村の挑戦から学び、共に地域福祉の未来を考える機会としたいと思います。

* * *

●聴講無料（定員200名／先着順）＜事前申込制＞

人権問題研究室ホームページ トップページ (<https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>) にある「新着情報」内の本講座案内ページの申込フォームから事前に受講申込をしてください。定員になり次第、受付を終了します。

空席がある場合に限り、事前申込をされていなくても聴講は可能です（当日会場にて参加受付を行います）。ただし、なるべく事前申込を行ってください。

* 手話通訳や介助者同伴等が必要な場合は、10月3日(木)までに人権問題研究室へご連絡ください。



主催 関西大学人権問題研究室

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前」駅下車

Tel 06-6368-1182 Fax 06-6368-0081

e-mail : jinkenken@ml.kandai.jp

ホームページ : <https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>



「新着情報」をご参照ください